



米国発表報道資料意識

ルノーグループ、設計コラボレーションプロセスに アドビシステムズの Acrobat 3D を採用

世界有数の自動車メーカーが、Adobe Reader と Adobe PDF で
社内外での 3D モデルの共有を可能にし、設計プロセスを迅速化

【2007 年 3 月 22 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2007 年 3 月 19 日) Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE、本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は本日、世界有数の自動車メーカーであるルノーグループが、従業員からサプライヤー、パートナー企業まで、グループ内外の幅広い関係者が、3D モデルを用いた設計コラボレーションに参加することを可能にするため、Adobe® Acrobat® 3D を採用したと発表しました。ルノーは Acrobat 3D をエンジンおよび車体関連の部門全体に導入する予定です。同社のスタッフは全世界で広く普及している無償の Adobe® Reader で Adobe PDF を活用することにより、従来よりも信頼性と安全性の高い方法で 3D モデルを共有することが可能です。ルノーはアドビシステムズと Acrobat 3D の 5,000 ライセンス契約を締結しました。

多くの大手メーカーは、異なる CAD (Computer Aided Design) フォーマットやアプリケーション、OS を使用して製品の設計開発を行っています。ルノーではすでに製品データマネジメント (PDM) システム内の構造 CAD や、デジタルモックアップを用いたワークフローにおいて、エンジニア間におけるネイティブファイルフォーマットの共有化を実現しています。製品開発のさらなる迅速化を実現させるためには、PDM とデジタルモックアップのインフラを、設計の精度や機密情報に対する安全性を確保しながら、さらに多くのプロジェクトメンバーと共有する必要性がありました。信頼性の高いクロスプラットフォームのフォーマットである Adobe PDF は、以前からルノーのビジネスプロセスの中核に組み込まれていましたが、Acrobat 3D を採用することにより、3D の技術文書も、使い慣れた共通のフォーマットで活用することが可能になります。

アドビシステムズ社のナレッジワーカービジネスユニット担当シニアバイスプレジデントであるトム・ヘイル (Tom Hale) は、「熾烈な競争環境によって、アウトソーシング化の流れが進展する中で、よりよい製品をより短期間で市場投入しなければならないというプレッシャーは、自動車産業から航空宇宙機器、産業用機械分野にいたるまで、世界中の製造業者の第一の懸案事項となっています。ルノーは Acrobat 3D の導入により、長年の実績と信用のある PDF の技術とユビキタスかつ無償の Adobe Reader を利用して、文書ベースの設計コラボレーションプロセスを、さらに迅速、安全かつ安価に、幅広いプロジェクトメンバーに拡げることができます」と述べています。

Acrobat 3D によって、ルノーのプロジェクトメンバーは、さまざまな種類の主要な CAD フォーマットの 3D モデルを Adobe PDF ファイルに埋め込むことができます。PDF への変換は、ドラッグアンドドロップで非常に簡単に行うことができ、専用の CAD アプリケーションがインストールされている必要はありません。また、OpenGL で動作する CAD アプリケーションから画面をキャプチャして 3D PDF を作成することも可能です。3D モデルは、スプレッドシート、プレゼンテーションスライド、画像、さらにはルノーの PDM システムから抽出されたダイナミック XML データなどの関連する製品開発情報とともに、1 つの PDF ドキュメントに結合することができます。エンジニアはその PDF ファイルを

社内の関連部門や社外のパートナー企業と簡単に共有することができるため、従来と比較して、より構造的な設計レビューができるのみならず、迅速かつインタラクティブなフィードバックの回収が可能になります。Acrobat 3Dを使用すれば、ルノーのプロジェクトに関わる社内外のメンバーが Adobe Reader を用いて PDF 内の 3D コンテンツを操作して、製品構造の確認やデジタル署名の適用ができるほか、3D オブジェクトに直接コメントを付けることや、計測、断面ツールを利用することが可能です*。

※ Adobe Reader 7.0.7 以降が必要です。

現在 Acrobat 3D を導入しているルノーはその次期バージョンである、Acrobat 3D Version 8 にアップグレードする資格を有しています。Acrobat 3D Version 8 は 2007 年上半期にリリースされる予定で、ファイルサイズが大きく複雑な構造を持つ CAD アセンブリから、正確なジオメトリを備えた非常にコンパクトな PDF を作成する高度な新機能が搭載されます。またこれにより、3D モデル上に直接指定された幾何公差寸法、許容差情報、注釈、寸法などの製品製造情報 (PMI) を盛り込んだ PDF の配布が可能になります。

アドビ システムズのクロスプラットフォームに対応したクライアントテクノロジーである Adobe Reader および Flash® Player は、世界中で 7 億台以上の PC および機器にインストールされています。

ルノーグループについて

ルノーグループは、118 ヶ国に生産と販売の拠点を有し、革新的で、安全かつ環境に配慮した自動車の設計・開発・製造・販売を世界規模で行なっています。2005 年、ルノーブランドの全世界における販売台数は 253 万 3,428 台で、売上高は 413 億ユーロとなりました。自動車衝突安全性テスト「ユーロ NCAP」において、最高評価の 5 つ星に 8 車種が認定され、自動車メーカーとしては世界最多の認定車種を誇っています。また、2005 年と 2006 年の F1 グランプリで、コンストラクターズ、ドライバーズの両チャンピオンタイトルを獲得しています。同グループは、新型車「ローガン」プロジェクトによって世界展開を加速しており、日産自動車との提携も継続しています。同グループの 12 万 6,436 人の従業員は、今後 4 年間のルノーの戦略の概要を示した「ルノーコミットメント 2009」を達成するための、利益ある成長という戦略を担うものです。「ルノーコミットメント 2009」は、ルノーをヨーロッパの中でもっとも収益性の高い量産車メーカーにし、それを維持することを目的としています。「ルノーコミットメント 2009」の 3 つの主要なコミットメントは以下のとおりです。

- 品質：2007 年発売予定の新型ラグナを、品質とサービスの両面で当該クラストップ 3 に入るブランドにする
- 収益性：2009 年に営業利益率 6%を達成する
- 成長：2009 年に 80 万台の販売増を達成する（2005 年比）

国際的な成長の追求は「ルノーコミットメント 2009」の重要な要件のひとつです。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。